

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和2年3月30日

九州運輸局

評価対象事業名: 確保維持改善事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
福岡県宗像市離島 航路確保維持協議 会	宗像市	地島～神湊	観光担当部署と連携し、島内を回る循環バスや食事処等の観光案内チラシやパンフレット等を設置し、利用者の増加を図った。	A	A	地島の観光客はあまり増加せず、運賃収益の増加は見込めないため、船員費の抑制や事務経費の削減により事業の改善を図り、老朽施設の大規模修繕を未然に防ぐため小規模修繕を強化する。観光担当部署と連携し、地島の観光案内や特産品PRなど引き続き行う。特に、大島航路において地島航路のPR活動を行う。	離島航路を維持していること自体評価できる。 本年はPRを県全体の広域媒体により行ったことで県内遠方からの来島があったことから、今後も地域と連携して観光客誘致を継続するとともに、地域全体で航路を維持していくという意識の醸成に取り組んで行くことを期待します。	
福岡県宗像市離島 航路確保維持協議 会	宗像市	大島～神湊～地島	観光担当部署と連携し、島内を回る循環バスや食事処等の観光案内チラシやパンフレット等を設置し、利用者の増加を図った。	A	B	旅行会社のツアー等の観光客が減少しているため、観光担当部署と花火大会・釣り大会・オルレイブントを運航の面で協力し、観光客数の維持を図る。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和2年3月30日

九州運輸局

評価対象事業名：確保維持改善事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
福岡県新宮町離島 確保維持協議会	新宮町	相島～新宮	近年の観光客の増加に伴う渡船利用者の増加に対応するため、積み残しによる臨時運航の実施や主船「しんぐう」入渠時の代船に主船と同程度以上の輸送力を有する「たいよう」を用船した。また、多客による乗船トラブルを防止するため、警備会社に乗船客整理業務を委託し、利便性向上に努めた。	A	A	令和2年度以降、代船として用船した「たいよう」が更新されないため、新たな代船を確保する必要がある。 また、増加する外国人利用客の利便性向上のため、多言語表示や音声案内の充実を図る。	離島航路を維持していること自体評価できる。 現在、猫の島として注目を浴びており、利用者は増加傾向にある。観光面のサポートを積極的に取り組み、併せて受入環境整備を行っており、地域と航路が一体となって航路改善に取り組んでいることは評価できる。 今後も、観光客の利用増加に対応するための取り組みに期待します。	
福岡県福岡市離島 航路確保維持協議会	福岡県福岡市	玄界島～博多	島民以外の利用者にも渡船の利用を促すため情報発信を行った。	A	A	島民以外の利用者にも、渡船の更なる利用を促すため、引き続きSNS等を活用した情報発信により利用者の増加に努めていく。また、QRコード決済への対応により、引き続き利用者の利便性の向上に努める。	離島航路を維持していること自体評価できる。 地域と連携して観光客誘致を継続するとともに、QRコード決済等の導入により利便性を促進し地域全体で航路を維持していくという意識の醸成に取り組んで行くことを期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和2年3月30日

九州運輸局

評価対象事業名：確保維持改善事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			⑥事業の今後の改善点	地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況		評価結果	
福岡県福岡市離島航路確保維持協議会	福岡県福岡市	小呂島～姪浜	島民以外の利用者にも渡船の利用を促すため情報発信を行った。	A	C	島民以外の利用者にも、渡船の更なる利用を促すため、引き続きSNS等を活用した情報発信等により利用者の増加に努めていく。また、QRコード決済への対応により、引き続き利用者の利便性の向上に努める。	離島航路を維持していること自体評価できる。 欠航率の改善は新船導入までは困難なことが予想されますので、欠航情報の迅速な周知について取り組まれることを期待します。また、地域と連携して観光客誘致を継続するとともに、QRコード決済等の導入により利便性を促進し地域全体で航路を維持していくという意識の醸成に取り組んで行くことを期待します。	
福岡県糸島市離島航路確保維持協議会	糸島市	姫島～岐志	引き続き、糸島市航路改善計画に基づき、利用者の増進及び利便性向上に努めている。 また、市観光部門が作成した「ひめしまップ」の配布により、姫島に関する電話等での問い合わせが増えた。 引き続きを活用して島の魅力をアピールし、観光客等の増進に努めた。	A	C	引き続き、島内整備や関係機関との連携により魅力ある島づくりに取り組む。 観光パンフレット「ひめしまップ」の配布やホームページ、フェイスブックなどによる情報発信により、福岡都市圏から1時間ほどで自然が満喫できる島の魅力をアピールし、観光客や団体利用客の再利用・新規利用誘致など島外利用者の拡大に努める。	離島航路を維持していること自体評価できる。 また、福岡市都市圏に近いという地の利を活かし、関係部署と連携して観光客等の誘致に力を入れておられますが、目標を達成出来るよう、更に取り組みを推進されることを期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和2年3月30日

九州運輸局

評価対象事業名: 確保維持改善事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考	
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点		評価結果
福岡県北九州市離島航路確保維持協議会	北九州市	藍島～小倉	なし(初年度)	A	B	<p>①ダイヤ改正 慣れ親しんだダイヤの変更に当初は戸惑いもあったが、概ね落ち着き始めている。今後も、島民を含め、島外からのニーズが高まれば、ダイヤの改正を検討したい。</p> <p>②運賃改定 20数年ぶりの運賃改定については、少なからず利用者にとって、不平・不満の声がある。しかし、この改定が小倉航路の維持や環境整備に還元されていることをホームページなどで広め、理解を深める取り組みを行う。</p> <p>③経費縮減 引き続き、経費の縮減に努めていきたい。</p> <p>④離島活性化 島は自然豊かな土地柄でもあるが目立った飲食店や観光施設はない。しかし、市観光部門の協力を得ながら、できることから始めて、地道な活動を行ってきたい。</p> <p>⑤増客対策 運賃改定の影響は大きく、大幅な利用者の増は達成していない。今後は、ホームページなどにより、割引チケットの存在を広めたい。また、こくら丸の安定運航を第一とし、臨時便を活用するなどして、連休に対する集客対応を検討していきたい。</p>	<p>離島航路を維持していること自体評価できる。また、近年猫の島として注目されており、利用者が増加していることから、猫をモチーフとした新しい割引運賃を設定するなど、観光資源を活かし利用者増加へ向けた対応を行っている事も評価できる。また、今後は経費削減に関する目標を策定されることを期待します。</p>	

**地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)**

令和2年3月30日

九州運輸局

評価対象事業名：確保維持改善事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
唐津市離島航路確保維持協議会	(有)郵正丸	馬渡島～呼子	本航路は、離島住民にとっては島外への通勤、通学、通院、生活物資の購入等日々の生活の安定の確保という観点から、確実に計画運航回数の達成を目標とし、併せて観光客などの利便性を確保した。	A	A	島内人口が減少している中、今後もイベント事業と連携して、観光客等の利用者増加を図る。 引き続き安定的な航路運営に努め、計画運航回数の実施、コスト削減を図る。	離島航路を維持していること自体評価できる。 今後も人口減少が予想される一方で、本航路は離島住民になくてはならない生活の足であるとともに、今後は目標に掲げている「イベント参加者の増加」について、その具体的な取り組みも目標に掲げることで取り組みが進展することを期待します。	
唐津市離島航路確保維持協議会	(有)加唐島汽船	加唐島～呼子	本航路は、離島住民にとっては島外への通勤、通学、通院、生活物資の購入等日々の生活の安定の確保という観点から、確実に計画運航回数の達成を目標とし、併せて観光客などの利便性を確保した。	A	A	島内人口が減少していることから、島民利用の増加は望めないものの、各種イベント事業との連携により、観光客等の利用者の確保を図る。 引き続きコスト削減を図りつつ、計画運航回数の確保を図る。	離島航路を維持していること自体評価できる。 今後も人口減少が予想される一方で、本航路は離島住民になくてはならない生活の足であるとともに、今後は目標に掲げている「イベント開催のタイアップ」について、その具体的な取り組みも目標に掲げることで取り組みが進展することを期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和2年3月30日

九州運輸局

評価対象事業名：確保維持改善事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点		
唐津市離島航路確保維持協議会	川口汽船㈱	小川島～呼子	本航路は、離島住民にとっては島外への通勤、通学、通院、生活物資の購入等日々の生活の安定の確保という観点から、確実に計画運航回数の達成を目標とし、併せて観光客などの利便性を確保した。	A	B	島内人口が減少している中、今後もイベント事業と連携して、観光客等の利用者増加を図り、計画運航回数の確保に努める。また、共通予備船の利用回数を増やすことで燃料消費量の削減を図るとともに、安定的な航路運営に努める。	離島航路を維持していること自体評価できる。今後も人口減少が予想される一方で、本航路は離島住民になくはない生活の足であるとともに、今後は目標に掲げている「自然環境を活用したイベント」について、イベント集客に向けた具体的な取り組みも目標に掲げることで取り組みが進展することを期待します。	
唐津市離島航路確保維持協議会	唐津汽船㈱	神集島～湊	本航路は、離島住民にとっては島外への通勤、通学、通院、生活物資の購入等日々の生活の安定の確保という観点から、確実に計画運航回数の達成を目標とし、併せて観光客などの利便性を確保した。	A	A	島内人口が減少している中、今後もイベント事業と連携して、観光客等の利用者増加を図る。引き続き安定的な航路運営に努め、計画運航回数の実施、コスト削減を図る。	離島航路を維持していること自体評価できる。今後も人口減少が予想される一方で、本航路は離島住民になくはない生活の足であるとともに、今後は目標に掲げている「島で行われる各種イベント」について、イベントの具体的内容及び集客に向けた具体的な取り組みも目標に掲げることで取り組みが進展することを期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和2年3月30日

九州運輸局

評価対象事業名: 確保維持改善事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
長崎県離島航路対策協議会	九州郵船株	博多～比田勝	島内の情報を収集。旅客、車両の増加に努めた。	A	A	旅客、車両共、過疎化、水産業の不振等で多くの利用増は見込めませんが、旅客グループ、定期トラックの利用増を引き続き働きかけていく。	離島航路を維持していること自体評価できる。 昨年度策定した目標よりも、本年の実績が旅客・車両共に増加していることも評価できる。 今後も、旅客グループ、定期トラックの利用増に向けた具体的取り組みを推進されることを期待します。	
長崎県離島航路対策協議会	崎戸商船株	友住～佐世保	離島航路改善計画実施により、令和元年6月11日新船就航に伴いこれからも費用の削減に努める。	A	B	長崎県離島航路対策協議会「友住～佐世保航路分科会」において策定された離島航路改善計画による新船が就航し、今後も増収及び経費の節減に努める。	離島航路を維持していること自体評価できる。 島民の要望を聞き入れた、お盆期間の定員増員や、高速船の利用などで島民の利便性の確保に努めたことは評価できる。 今後は左記離島航路改善計画に沿った具体的な目標を取り入れ、収支改善に向けた取り組みを推進されることを期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和2年3月30日

九州運輸局

評価対象事業名: 確保維持改善事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
長崎県離島航路対 策協議会	九州商船株	佐世保～上五島	「びっぐあーす2号」や「いのり」の就航 および「長崎と天草地方の潜伏キリシ タン関連遺産」の世界遺産登録を活用 し、島外からの観光客誘致を図ったほ か、安全運航のために日頃から船舶の 点検等を行うなどして航路の確保維持 に努めた。	A	A	「フェリーなみじ」が船齢32年と老朽化してい るため、代替船を建造・就航させることができ るように時期を見極め計画を立てる。	離島航路を維持していること自体評価でき る。 H31.5月に新船が就航したことから今後も離 島住民の利便性促進及び、世界遺産登録に ともなう輸送人員の増加が予想される事に 対応する取り組みに期待します。	
長崎県離島航路対 策協議会	野母商船株	福江～青方～博多	①経費面では、博多～宇久港間の下り便 に於いて減速運航を継続して行い燃 料費削減が継続してできた。 ②収入面では、積極的な営業活動を行 い新規取引の獲得もでき増収ができた。	A	A	①経費面では、博多～宇久港間の下り便に 於いて減速運航を継続して行うことで燃料費 削減に努め、その他経費に於いても削減に 努める。 ②収入面では、積極的な営業活動を行い増 収に努める。	離島航路を維持していること自体評価でき る。 平成30年6月に「長崎と天草地方の潜伏キリ シタン関連遺産」が世界文化遺産登録され た事により旅客の増加もしておりますので、 今後の地元の観光協会、旅行代理店とのモ デルコースの作成など旅行者へのPR活動に 期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和2年3月30日

九州運輸局

評価対象事業名：確保維持改善事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考	
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点		評価結果
長崎県離島航路対策協議会	五島旅客船㈱	郷ノ首～福江	昨年と同様、日常メンテナンスを計画的に実施し、ドック時に於いて検査工事等を造船所に全て任せることなく、船員自ら整備を行うことにより削減に努めた。本年度は、島外需要の取り組みを強化し、旅行商品の造成や、航路検索サービスの導入を決定している。	B	B	地域公共交通活性化再生協議会並びに長崎県離島航路対策協議会に設置されている地域分科会等を通じて、本土～離島間及び島内交通機関との接続を密にして地元住民の足としてより良い運航形態を目指すことにより、公共交通機関としてのサービス維持すると共に、世界遺産登録となった「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」に関する取組を推進することにより、交流人口の増加に寄与したい。また策定された航路改善計画に基づき、フェリーオーシャンの代替船建造を行い、利便性を向上させ、当該航路の安定的な維持・確保に努めたい。	離島航路を維持していること自体評価できる。 平成30年6月に「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」が世界文化遺産に登録された事を活用し、旅行商品の造成や航路検索サービスに伴う旅客の利用増加の取り組みに期待します。	
長崎県離島航路対策協議会	佐世保市(宇久)	神浦～寺島～柳	過去の実績を鑑み目標値を現実的なものにしたうえで、運航率の安定を図った。	A	B	風力発電や、メガソーラー等寺島に関連する事業の進捗によっては、本航路の利用者数改善が望める。	離島航路を維持していること自体評価できる。 当該航路は必要不可欠な住民の足であるため、地域で航路を維持していくという意識の醸成に取り組んで行くことを期待します。 また、風力発電やメガソーラーなどの大型事業については関係機関と連携のうえ、新規需要獲得に向けた取り組みを進展されることを期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和2年3月30日

九州運輸局

評価対象事業名：確保維持改善事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			⑥事業の今後の改善点	地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況		評価結果	
長崎県離島航路対策協議会	津吉商船㈱	津吉～相浦～佐世保	<p>・平戸南部地区の過疎化に伴う人口の自然減による輸送人員の減少を補うため、イギリスからの「将軍ツアー」と、平戸商工会議所主導による南部地区町おこしの一環として「南部地区活性化委員会」にも積極的に参加し、観光誘致に努め、各種イベント等に関しても、可能な限りのPRを行い、平戸島外からの入込み客を増やすことにより運賃増収に努めた。</p>	A	A	<p>・事業者単独での航路維持は非常に困難であり、公的支援が必要である。 ・佐世保コンベンション協会に働きかけ佐世保地区へのPR化を図り、広域観光ルートの構築に取り組む。 ・イギリスからの「将軍ツアー」と、平戸商工会議所主導による「南部地区活性化委員会」にも積極的に参加し観光誘致に努め、各種イベントに関しても、出来る限りPRを行い、運賃の増収に努める。 ・船舶修繕費については、船員で整備修繕を行い、経費削減に努める。</p>	<p>離島航路を維持していること自体評価できる。 当該航路は必要不可欠な住民の足であるため、地域で航路を維持していくという意識の醸成に取り組んで行くことを期待します。 また、令和2年3月に策定予定の航路改善計画でとりまとめられる具体的計画を実行するための取り組みを目標に取り入れることを期待します。</p>	
長崎県離島航路対策協議会	西海沿岸商船㈱	佐世保～神浦	<p>長崎市及び島民との協議を行い、観光客の受け入れ体制、ダイヤについて協議を行っている</p>	A	B	<p>西海市及び長崎市(池島)と連携し航路利用客の増加に努める</p>	<p>離島航路を維持していること自体評価できる。 平成30年10月に神浦～池島間を1便増便したため、同区間の旅客輸送人員や収益にかかる目標を策定されることを期待します。 佐世保観光コンベンション協会との連携により行った佐世保港遊覧事業は観光客にとっては大変魅力的な事業ですので、今後もこういった新しい観光事業の取り組みに期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和2年3月30日

九州運輸局

評価対象事業名：確保維持改善事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
長崎県離島航路対 策協議会	平戸市	大島～平戸	燃料費の安価な購入のため毎月単価見積入札を実施した。 離島住民割引を実施し、島民の利便確保、負担軽減を図った。	A	B	燃料単価は昨年度に比較して上昇している、主機回転数の抑制や毎月の単価見積入札を継続し経費削減に努める。また、ドック等において、塗装、小修理等可能な限り船員で行い経費節減に努める。 さらに、安定的な運航を図るため、船員の確保に努めていきたい。	離島航路を維持していること自体評価できる。 H31年3月に大型化した新船が就航したことから車輛・貨物需要に関する目標を策定することで新船投入効果を実現するための取り組みを推進されることを期待します。	
長崎県離島航路対 策協議会	対馬市	仁位～長板浦	有人国境離島割引及び同障害者割引により、地域住民の利用者促進を図った。 また、経費については、小修繕など可能な限り船員で行い、主燃料の入札を年4回実施するなどして経費削減に努めた。	A	A	地域住民だけではなく、個人観光客等の定期航路利用が増加していることから、不定期航路と併せて、広く利用の周知を行い、収入の増加に繋げていきたい。 また、船舶修繕については、可能な限り船員で整備を行い経費削減に努めたい。	離島航路を維持していること自体評価できる。 本年度は旅行業者のツアーメニューの組み入れなどによって、収入が増加している事については評価できる。 今後も、観光に関する新たなツアーや、地域住民との連携により島内の観光資源の発掘及び、PR活動等の取り組みに期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和2年3月30日

九州運輸局

評価対象事業名: 確保維持改善事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
長崎県離島航路対策協議会	野母商船株 (長崎汽船株)	長崎～伊王島～高島	①バック商品等の継続 ②H29年6月19日より新船「鷹巢」を就航、船舶修繕費、燃料費等の削減に努力している。	A	A	・事業者単独での航路維持は非常に困難であり、公的支援が必要である。 ・平成29年6月19日より「鷹巢」(総トン数124トン)が就航し、船舶修繕費、燃料費の削減等を目標に経営改善を目指します。	離島航路を維持していること自体評価できる。 当該航路は必要不可欠な住民の足であるため、地域で航路を維持していくという意識の醸成に取り組んで行くことを期待します。 また、令和元年12月に野母商船と合併したことにより経費削減を進めるための取り組みが推進されることを期待します。	
長崎県離島航路対策協議会	鷹島汽船株	阿翁～御厨	平成28年4月6日に全区間に離島住民運賃割引を導入した。少子高齢化の進行及び雇用の場が無く、若年者の島外流失により、利用者は年々減少傾向で歯止めがかからない状況であるが、交流人口の拡大、観光客の誘致のために「まつら党交流公社」及び「まつら観光物産協会」と協力して、青島への体験型修学旅行生の受け入れに努めている。	A	A	平成27年度に松浦市地域公共交通活性化協議会「殿ノ浦～今福航路対策分科会」において、阿翁～御厨航路に飛島を寄港地として追加する「航路改善計画」を作成した。それに伴い寄港地である飛島に週1回(基本水曜日)本航路の「フェリーたかしま2」を運航して、屎尿運搬車・ゴミ収集車・プロパンガス運搬車・燃料運搬のタンクローリー車等の車両輸送を行っている。	離島航路を維持していること自体評価できる。 島民の人口減少が今後も予想される一方で、観光客誘致のための「まつら党交流公社」及び「まつら観光物産協会」と協力して、体験型修学旅行生の受入に努めていることも評価できる。 今後も地域との連携により、交流人口の拡大や観光客の誘客に関する取り組みに期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和2年3月30日

九州運輸局

評価対象事業名: 確保維持改善事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
長崎県離島航路対 策協議会	鷹島汽船㈱	殿ノ浦～今福	少子高齢化の進行及び雇用の場が無く、若年者の島外流出により、利用者は年々減少傾向で歯止めがかからない状況であるが、交流人口の拡大、観光客の誘致のために「まつら党交流公社」及び「まつら観光物産協会」と協力して、鷹島への体験型修学旅行生の受入れに努めておりますが、団体利用者は皆無であるので、寄港地である飛島へ島外からの釣り客利用者の増加に努めております。	A	A	平成26年度の「航路改善計画」に基づき、今後は長期的視点にたった持続的な経営効率化と関係者間の連携強化を図る事に行っている。	離島航路を維持していること自体評価できる。 今後も地域と連携して観光客誘致を継続するとともに、釣り客増加のためのPR活動など地域全体で航路を維持していくという意識の醸成に取り組んで行くことを期待します。	
長崎県離島航路対 策協議会	壱岐市	大島～郷ノ浦	観光客の拡大、校外学習によるフェリーの利用等、収入の維持、確保を図った。 経費については、消耗品の節減、燃料油費の毎月単価入札の実施、修繕費については、中間検査における一般競争入札の実施、船員による日頃からの船舶保守点検を徹底し、経費節減に努めた。	A	B	人口減少・少子高齢化等により、運航収益の減少が危惧されるが、引き続き島外からの観光客・教育旅行等による乗客及び交流人口拡大を図り収入の増加・確保に努める。 また、経費についても、燃料油費について毎月単価入札を実施、中間検査の指名競争入札実施、消耗品費、修繕費等の経費節減を図り、本航路の実情にあった経営改善を継続的に図っていく。	離島航路を維持していること自体評価できる。 今後も人口減少が予想される一方で、本航路は離島住民になくはない生活の足です。 特に収入の目標達成率が低い項目があり、実現可能性のある目標水準であるか検討されるとともに、左記のとおり交流人口の拡大、収入の増加確保に向けた取り組みに期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和2年3月30日

九州運輸局

評価対象事業名：確保維持改善事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
長崎県離島航路対策協議会	黒島旅客船(南)	黒島～高島～相浦	少子高齢化や黒島天主堂の耐震化工事(H31.2～R3.3予定)による利用者数の増加が見込めない中、船舶の錆落としや自社修繕、定期点検等を行い経費節減に努めた。	A	A	利用者数の増加が見込めない中、欠損増加の抑制に努める。 今後も引き続き、船員による船舶の錆落としや自社修繕を行い、定期点検を実施し維持管理を行い経費節減に努める。また保険等の相見積の取得、消耗品価格の精査を行い経費節減に努める。	離島航路を維持していること自体評価できる。 また、次年度は黒島天主堂の耐震化工事が終了し、旅客需要を増加させるため、関係機関と連携した観光客増加に向けた取り組みを推進されることを期待します。	
長崎県離島航路対策協議会	五島市(奈留)	奈留島～前島	デマンド運航の定着及び利便性の向上を図り、離島航路の維持存続に努める。	A	A	デマンド運航開始から3年以上経過しているため、今後デマンド運航のあり方について検証したい。	離島航路を維持していること自体評価できる。 デマンド運航は必要なときに限って運航することで費用の圧縮が図られるメリットがあり、そのためには地域住民の協力が不可欠と考えます。そのため、地域で航路を維持していくという意識の醸成に取り組まれることを期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和2年3月30日

九州運輸局

評価対象事業名: 確保維持改善事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
長崎県離島航路対策協議会	㈲木口汽船	久賀～福江～杵島	前回の事業評価結果を踏まえ、収入面では、世界登録後、久賀島の観光客誘致についてパンフレット送付やホームページで予約状況の案内、雑誌の無料掲載の取材に積極的に参加し、これまで以上にPRに努めた。費用面での消耗品については、事前に見積もりをとったり、ネット購入により、計画より費用を抑えることができた。しかし、修繕費については船員が点検や細かい修理をすることに努めたが、老朽化し、年々修繕内容が複雑になり、見込よりは少し抑えられたが、年々増加傾向にある。	A	A	旅客は久賀島、杵島とも運賃低廉化の効果は継続しており、島民の利用は安定しているが、島内の公共工事の有無に左右されるところも大きい。しかし、久賀島の「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の登録で五島市観光協会の企画ツアーの集客状況がよく、シーガルの利用は昨年度より14%増加している。久賀小中学校では島留学生に加え、家族留学制度も今年度よりスタートし島民も学校の存続やIターンの受け入れに尽力している。今後も各方面と情報交換をし、島の活性化に繋がるようPRを進め、行政や観光協会等による航路情報や島情報の発信を引き続きお願いしていきたい。	離島航路を維持していること自体評価できる。 久賀島、杵島久ともに人口減少が予想される一方で、久賀島が平成30年6月に世界文化遺産に登録され、左記PR活動の効果もあり、旅客輸送実績が増加していることは評価できるものと考えます。 今後とも地域と連携したPR活動等により利用客増加が図られることに期待します。	
長崎県離島航路対策協議会	㈲黄島海運	黄島～福江	燃料費の安価購入のため毎月単価購入契約を実施した。経費の削減に努め安定的な航路運営を図った。	A	A	船舶修繕費について、ドック、小修理するなど、可能な限り船員でおこない経費削減に努める。離島住民及び利用者の要望を常に聞きながら、利用者の目線で事業運営に努めていきたい。	離島航路を維持していること自体評価できる。 本年度、年間輸送人員目標を達成していることは評価できる。 今後も航路の利用促進に取り組んで行くことを期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和2年3月30日

九州運輸局

評価対象事業名: 確保維持改善事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
長崎県離島航路対策協議会	五島市(富江)	富江～黒島	病院等の利用が多く見込まれる火曜日(1日1往復)以外については、事前予約による海上タクシーを利用したデマンド運航とすることが承認された。	A	B	デマンド運航開始から3年以上経過しているため、今後デマンド運航のあり方について検証したい。	離島航路を維持していること自体評価できる。 デマンド運航は必要なときに限って運航することで費用の圧縮が図られるメリットがあり、そのためには地域住民の協力が不可欠と考えます。そのため、地域で航路を維持していくという意識の醸成に取り組まれることを期待します。	
長崎県離島航路対策協議会	竹山運輸(有)	度島～平戸	黒島・大島航路の用船の長期化に努め収入の像に努めた	A	A	慢性的な人員不足を解消する為に地元の船員に対して雇用促進をお願いしていきたい。地元ネットワークに積極的に参加し住みやすい度島づくりに努める。費用については複数社の見積もりを徹底し経費削減に努める	離島航路を維持していること自体評価できる。 船員確保については喫緊の過大であるため、関係機関に相談するなど雇用実現に向けた取り組みを期待します。 また、左記のとおり費用圧縮に向けた取り組みも引き続き推進されることを期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和2年3月30日

九州運輸局

評価対象事業名：確保維持改善事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
長崎県離島航路対策協議会	小値賀町	笛吹～大島・野崎	・町の観光窓口である「おぢかアイランドツーリズム協会」と連絡を密にし「長崎と天草地方の潜伏キリタン関連遺産」として世界遺産登録された野崎島を訪れる観光客の利用や修学旅行生や民泊利用者など、町営船の利用促進への対策を行った。	A	A	離島航路構造改革補助事業で立ち上げた航路対策協議会分科会を必要に応じ開催し効果的な運航や増収策など、意見を聞きながら取り組んでいく。	離島航路を維持していること自体評価できる。 また、構造改革補助を活用する際に立ち上げた分科会を必要に応じ開催される取り組みも評価できるものと考えます。 また、野崎島の集落が平成30年6月に世界文化遺産に登録され、増便していることの効果検証を行うとともに、今後も観光客誘客へ向けた、PR活動を推進されることを期待します。	
長崎県離島航路対策協議会	小値賀町	柳～納島	島の特産品である落花生収穫体験の研修等、団体客の利用	A	A	今後も、観光事業と連携した取り組みを行い、利用客増加を図る。	離島航路を維持していること自体評価できる。 地域と連携して観光客誘致を継続するとともに、地域全体で航路を維持していくという意識の醸成に取り組んで行くことを期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和2年3月30日

九州運輸局

評価対象事業名: 確保維持改善事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	
長崎県離島航路対 策協議会	嵯峨島旅客船(有)	嵯峨島～貝津	費用を抑えるためできるだけできることは船員で行い、比較ができる費用は見積もり比較をし依頼している。	A	A	島の人口も緩やかではあるが、減少傾向にあるため、いかに島民以外の利用促進を図るかが課題である。五島市とも連携を図っていききたい。	離島航路を維持していること自体評価できる。 今後も人口減少が予想される一方で、本航路は離島住民になくてはならない生活の足であり、今後もイベント事業と連携をし、観光客等の利用者を増加させるための取り組みに期待します。
天草～長崎航路対 策協議会	苓北観光汽船(株)	富岡～茂木	なし(2年度)	A	B	・富岡港からの二次アクセスとして、民間企業が一般レンタカー事業を行っており、航路利用者の利便性向上に役立っていることから、引き続きレンタカー事業者と連携をとっていく。 ・天草地域における交通と観光情報をまとめたパンフレット(他事業で作成中)をPRに活用し、長崎方面からの集客を誘致する。 ・目標値については、これまでの実績と乖離しすぎず、実現性のある値を設定する。	離島航路を維持していること自体評価できる。 今後島民の人口減少が予想される一方で、本航路は離島住民になくてはならない航路である。 今後の地域住民との連携により、島内の観光資源発掘や、PR活動などによる取り組みに期待します。 また、今後は増収に資する目標のみならず、費用削減に関する目標も掲げることで収支改善に取り組まれることを期待します。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和2年3月30日

九州運輸局

評価対象事業名: 確保維持改善事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考	
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点		評価結果
姫島～国見航路運 営協議会	姫島村	姫島～国見	<p>○前回評価結果 「本土の最寄り駅の1つである宇佐駅 から伊美港への接続の改善を図った り、バスとフェリーの乗り継ぎ割引乗車 券の販売など、観光振興や利用促進 の取り組みを行っていることは評価でき る。今後は行政等と連携した効果的な 情報発信に取り組むことを期待する」 →「おさかな祭り」や「姫島盆踊り」等 の島のイベントに加えて、2019年秋開催 の「ラグビーワールドカップ2019」や「日 本ジオパーク全国大会」に向けて大分 県への注目が集まる機会を捉えて、県 や関係機関と連携した情報発信を行っ た。 協議会委員には、村の企画振興課長 や商工会会長、区長会会長を任命して おり、協力して観光振興や利用促進等 の取組を行っている。</p>	A	A	<p>○日本ジオパーク等の地域資源を活かし、 県内外からの観光客誘致を進めて交流人口 の増大を図る。 ○船舶については常時点検を行い、大規模 な修繕の発生を回避する。</p>	<p>離島航路を維持していること自体評価でき る。 本土の最寄り駅の1つである宇佐駅から伊 美港への接続の改善を図ったり、バスとフェ リーの乗り継ぎ割引乗車券の販売、イベント 時期に合わせて県や関係機関との連携によ る情報発信など観光振興や利用促進の取り 組みを行っていることは評価できる。 今後は島内外からの観光客促進を進めて交 流人口の増大への取り組みに期待します。</p>	
大島～佐伯航路運 営協議会	佐伯市	大島～佐伯	<p>○前回評価結果 「今後も人口は減少傾向が予想される 一方、当該航路は必要不可欠な住民 の足であるため、島情報の発信や島内 イベント等の観光利用促進に取り組ん で行くことを期待する」 →協議会委員には、市の地域振興部 長や佐伯市あまべ商工会会長、大島 地区自治会長を任命しており、協力 して移住や観光、利用促進等の取組を 行っている。</p>	A	A	<p>○関係機関と連携して情報発信を行い、需 要を喚起するとともに、活性化方策として島 内イベントの開催等を検討する。 ○船舶の日常点検を徹底し、突発的な大規 模修繕の発生を回避し修繕費の削減を図 る。</p>	<p>離島航路を維持していること自体評価でき る。 今後も人口は減少や高齢化の傾向が予想さ れる一方、当該航路は必要不可欠な住民の 足であるため、SNSなどを活用した島情報 の発信や島内イベント等の観光利用促進に取 り組んで行くことを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和2年3月30日

九州運輸局

評価対象事業名: 確保維持改善事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
蒲江～深島航路運 営協議会	蒲江交通(有)	蒲江～深島	<p>○前回評価結果 「今後も経費節減や航路の利用促進等 に取り組むことを期待する」 →島民によるマリンアクティビティやゲ ストハウス等の運営、HPやSNSによる 情報発信等を市や関連機関と連携して 行っており、島の活性化や航路の利用 促進につながっている。 協議会委員には、市の地域振興部長 や佐伯市あまべ商工会理事、屋形島・ 深島区長を任命しており、協力して利 用促進等の取組を行っている。</p>	A	A	<p>○島民利用の増加は望めないことから、観 光関係部署と連携を図りながらホームページ 等で情報発信を行い、来訪客の増加を図る。 ○更なる経費節減に努め、欠損額の抑制を 図る。</p>	<p>離島航路を維持していること自体評価でき る。 また、本土の学校に通学する児童のため、 関係機関との連携のうえ、スクールボート便 の運航を実施させたことは評価できます。 今後も経費削減や、パンフレット、ホーム ページからの観光情報発信などの取り組み に期待します。</p>	
津久見～保戸島航 路運営協議会	(有)やま丸	津久見～保戸島	<p>○前回評価結果 「ホームページやSNSを活用した情報 発信、地域と連携した誘客促進の取り 組みを積極的に行っていることは評価 できる。 今後も地域と連携して観光客誘致を継 続するとともに、地域全体で航路を維 持していくという意識の醸成に取り組ん でいくことを期待する。」 →H31.1より住民自ら地域の魅力を再 発見し、市内外から客や活気を呼び込 むことを目的に、島民や市、市観光協 会、県による「保戸島わくわく会議」を開 催しており、新たな土産物やイベント等 による地域と連携した誘客促進を図っ ている。 協議会委員には、市の経営政策課長 や津久見市商工会議所会頭、保戸島 区長会会長を任命しており、協力して 移住や利用促進等の取組を行っている。</p>	A	A	<p>○観光部署と連携して観光ツアーの取組を 強化し、来訪者の利用拡大を図る。 ○船舶の日常点検を徹底し、突発的な大規 模修繕の発生を回避し修繕費の削減を図 る。 ○細かな節減に努め経費の圧縮を図る。</p>	<p>離島航路を維持していること自体評価でき る。 ホームページやSNSを活用した情報発信、 地域と連携した誘客促進の取り組みを積極 的に行っていることは評価できる。 また、島民・市・市観光協会・県による「保戸 島わくわく会議」を開催していることは、意見 交換に最適な場であり今後は是非とも続けて いただきたい。 今後新たな、観光客誘客に向けた取り組み に期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和2年3月30日
九州運輸局

評価対象事業名: 確保維持改善事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			⑥事業の今後の改善点	地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況		評価結果	
延岡市離島航路確保維持改善協議会	日豊汽船株	島浦～浦城	住民や観光客等の利用者の利便性向上を図るため、老朽化した本社事務所の建替えを行った。また、健全な航路経営を目指すために地域振興策を活用した利用客増加の推進について取り組んだほか、地元団体と島の若者等で構成される既存の任意団体が連携し、漁業体験や食といった島の魅力を活かした観光誘客についての取組も実施した。	A	A	島内では急激な高齢化に伴い人口減少が進んでおり、島民の利用増加が難しい状況であるため、島外利用者の増加に向けて航路のPRのほか、接続する路線バスとの連携等による利用促進を図っていく。また、住民や関係団体等が連携し、交流人口の拡大等に取り組み、島外からの利用客増加を目指していく必要がある。そのため、地域振興施策を活用した利用客増加に向けての取組みを推進するほか、引き続き、島の若者等で構成される既存の任意団体の取組等とも連携し、漁業体験や島ごはんといった食など、島の魅力を活かした観光誘客に取り組んでいく。 また、航路維持のためには、船員等の確保が必要不可欠であることから、職場体験等を実施する等、船員という職業への認知度の向上に努める。	離島航路を維持していること自体評価できる。 また、漁業体験や島ごはんといった食など、島の魅力を活かした観光誘客の取組みは是非続けて頂きたい。 今後も、島内の観光資源を活かし、SNSなどで魅力の発信を行い、観光客の誘客に向けた取組みに期待します。 また、船員職業体験について、体験メニューを具体化し、実施結果をフォローすることで取組みの進展が進められることを期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和2年3月30日

九州運輸局

評価対象事業名: 確保維持改善事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
串木野・川内～甬島 航路対策協議会	甬島商船株式会社 串木野・川内～甬島 航路	串木野・川内～甬島 航路の運航	<p>・甬島への入込観光客の誘客促進を図るため、旅行代理店向けの旅行商品割引や高速船周遊割引を実施、また、特定有人国境離島地域社会維持推進交付金を活用した滞在型観光促進事業に注力し、薩摩川内市及び薩摩川内市観光物産協会等と連携し、個人向けの旅行商品を造成し営業展開を図り、甬島への入込観光客の誘客促進等を図ることで、輸送量の維持、確保に努めた。</p> <p>・平成28年度まで本事業により実施してきた離島住民割引は、平成29年4月から有人国境離島法による運賃低廉化事業に移行され、引き続き、住民等の負担を軽減することで、利用促進を図った。</p>	A	B	<p>・甬島の人口が減少傾向にあり、島民の航路利用減少が推測されることから、引き続き、特定有人国境離島法の滞在型観光促進事業なども活用しながら、航路事業者や薩摩川内市と連携し、島外からの交流人口の増加を図ることで、輸送量の維持に努める。</p> <p>・離島住民にとって必要不可欠な交通手段である航路の維持・確保のため、今後とも経費削減に努め、安定的な航路運営に努める。</p>	<p>離島航路を維持していること自体評価できる。 また、H29年4月からの有人国境離島法による運賃の運賃低廉化事業や、H30年3月からの障がい者割引制度拡充の実施などの取り組みは評価できる。 今後も、有人国境離島法の滞在型観光促進事業を活用され、観光客誘致に向けた取り組みの強化に期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和2年3月30日

九州運輸局

評価対象事業名: 確保維持改善事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における二次評価結果	備考	
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点		評価結果
鹿児島～三島～枕崎航路対策協議会	三島村 鹿児島～三島航路	鹿児島～三島～枕崎航路の運航	<p>・増便等による利便性の向上により、地域間交流や各種イベント等、村の施策と連携した利用促進に取り込むことで、輸送量の維持・確保に努めた。</p> <p>・平成28年度まで本事業により実施してきた離島住民割引は、平成29年4月から有人国境離島法による運賃低廉化事業に移行され、引き続き、住民等の負担を軽減することで、利用促進を図った。</p>	A	B	<p>・今後も、輸送量確保のため、地域間交流や各種イベント等、村の施策と連携した、利用促進に努める。</p> <p>・本航路は、住民の利便性向上のため、平成28年10月より、便数利便性改善支援制度を活用して、週3便から週4便へ増便したところであり、今後、運航日程・発着時刻に関する住民の要望や利用動向を踏まえ、さらなる航路の利用促進に努める。</p> <p>・離島住民にとって必要不可欠な交通手段である航路の維持・確保のため、今後とも経費削減に努め、安定的な航路運営に努める。</p>	<p>離島航路を維持していること自体評価できる。</p> <p>公共事業減少に伴い運航収入が減少しているが、公共事業だけに依存しない航路経営を目指し地域間の交流や各種イベント等の取り組みに期待いたします。</p> <p>また、現在命名・進水が行われた代替船が来年度就航予定のため航路改善事業に基づく取り組みが進展されることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和2年3月30日

九州運輸局

評価対象事業名: 確保維持改善事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における二次評価結果	備考	
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点		評価結果
鹿児島～十島～名瀬航路対策協議会	十島村	鹿児島～十島～名瀬	<p>・十島村において、定住対策関連事業(交流人口の増加対策や地元産業の育成対策等)に取り組むことにより、本航路における輸送量の確保及び航路収支の維持を図った。</p> <p>・平成28年度まで本事業により実施してきた離島住民割引は、平成29年4月から有人国境離島法による運賃低廉化事業に移行され、引き続き、住民等の負担を軽減することで、利用促進を図った。</p>	A	A	<p>・村が実施する定住促進対策関連事業等(交流人口の増加対策や地元産業の育成対策等)の施策と連携し、利用促進に努める。</p> <p>・平成30年4月より、運航ダイヤの見直しを行っており、今後もこれに基づき航海時間の短縮による旅客等の利便性及び定時性の向上に努める。</p> <p>・離島住民にとって必要不可欠な交通手段である航路の維持・確保のため、今後とも経費削減及び安定的な航路運営に努める。</p> <p>・「フェリーとしま2」を活用したツアー等を実施・拡大し、島内外の旅客の利用促進に努める。</p>	<p>離島航路を維持していること自体評価できる。</p> <p>H30. 4月に行っている、運航ダイヤの見直しにより、航海時間の短縮によって住民に限らず、観光客等の利便性を向上を行っていることは評価できる。</p> <p>今後もフェリーとしま2を利用したツアーの拡大等による島内外の航路利用促進の取り組みや、十島村が実施する定住促進対策関連事業等の施策との連携に期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和2年3月30日

九州運輸局

評価対象事業名: 確保維持改善事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における二次評価結果	備考	
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点		評価結果
鹿児島～喜界～知名航路対策協議会	奄美海運(株)	鹿児島～喜界～知名	<ul style="list-style-type: none"> 奄美群島航路運賃軽減事業及び奄美群島交流需要喚起対策特別事業の運賃割引制度や航路紹介冊子の作成配布など利用促進を図りながら、地域のイベントや要望にも応じた運航体制を確保し、収益の確保に努めた。 燃料価格の上昇に伴う燃料油価格変動調整金を適切に収受し、収支改善に努めた。 運航の安全を確保しながら随時見直しや節減を行い航路収支の改善に努めた。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 航路の状況は、地域の少子高齢化と過疎化による人口減少や農畜産業を中心とした基幹産業の縮小など輸送需要が低迷していくことが推測される。今後も奄美群島振興交付金による運賃割引制度の有効活用と航路紹介の冊子やインターネットを通じた広報活動などを積極的に行い、航路の利用促進や活性化に努める。また、奄美地域の国立公園化と世界自然遺産登録に向けた取組みにより、航路との連携を図りながら関係機関と一体となって増収に努める。 燃料費は2020年1月からSOX規制により費用負担が大幅に増加する。そのため、運賃に上乘せする燃料油価格変動調整金を適切に収受し、収益の確保に努める。 離島の公共事業や地域で生産される農水産物等の輸送や地域の要望やイベントと連携した運航体制を確保し、関係市町村と一体となって増収に努め、経費削減や航路の維持改善を図りながら、離島住民の必要不可欠な交通手段である航路の安定的な運営に努める。 	<p>離島航路を維持していること自体評価できる。</p> <p>Sox規制により上昇する燃料油価格について、適切に運賃に反映させている点は評価できます。今後も市場価格を注視し適切に運賃に反映されることに期待します。</p> <p>奄美群島相互間において、地域住民を対象とした奄美群島航路運賃軽減事業や奄美群島交流需要喚起事業等による運賃割引を実施し、また奄美群島振興交付金を活用した航路紹介冊子を作成し、航路のPR等を行っている事も評価できる。</p> <p>今後も、運賃割引をPRすることによるPR活動の実施や、利用者の増進を図る活動に期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和2年3月30日

九州運輸局

評価対象事業名: 確保維持改善事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
宮之浦～口永良部・ 島間航路対策協議会	屋久島町	宮之浦～口永良部～ 島間	<p>・口永良部島での火山災害からの復興は、ほぼ噴火前の状態に戻りつつあり、火山警戒レベルが「3」から「2」へ引下げられ、島民にとって必要不可欠な生活航路としての安定的な航路運営に努めた。(令和元年10月28日に火山警戒レベルが「2」から「3」に引上げられた。)</p> <p>・平成29年4月から有人国境離島法による運賃低廉化事業を引き続き実施し、住民等の負担を軽減することで利用促進を図った。</p>	A	B	<p>・人口の減少等で輸送量の確保が難しい状況であるが、口永良部島での公共工事等による輸送量の増加も見込んでおり、これに加え、関係機関との連携のもと、交流人口の増加に努める。</p> <p>・離島住民にとって必要不可欠な交通手段である航路の維持・確保のため、今後とも経費削減に努め、安定的な航路運営に努める。</p>	<p>離島航路を維持していること自体評価できる。</p> <p>日常的な費用削減の取り組みに加え、本航路のPR活動等に努め、航路の活性化に向けた取り組みなどに期待します。</p>	
与路～古仁屋航路 対策協議会	瀬戸内町 与路～古仁屋航路	与路～古仁屋航路	<p>・イベント開催など、地域住民の要望に応えるとともに、必要に応じて運航ダイヤの見直しを行うなど、利用者と航路運営の課題を共有しながら、輸送サービスの向上に努めた。</p>	A	B	<p>・目標年間輸送量を確実に達成できるよう、与路島、請島でのイベント開催や農業振興等による取扱い貨物の増など、町の施策と連携した需要喚起策に努める。</p> <p>・離島住民にとって必要不可欠な交通手段である航路の維持・確保のため、今後とも経費削減に努め、安定的な航路運営に努める。</p>	<p>離島航路を維持していること自体評価できる。</p> <p>また、イベントの開催など地域住民の要望に応え、必要に応じてダイヤの見直しを行うなど利用者や航路運営の課題を共有しながらサービスの向上に努めている点も評価できる。</p> <p>今後も、町の施策と連携した需要の拡大に向けた取り組みに期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和2年3月30日

九州運輸局

評価対象事業名: 確保維持改善事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
瀬相～古仁屋～生 間航路対策協議会	瀬戸内町	瀬相～古仁屋～生間	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年4月6日より新船での運航を再開し、現在は定期的かつ安全な運航を行っている。 平成29年4月より実施している加計呂麻島民を対象とした離島住民割引を引き続き実施し、島民の利便性確保、負担軽減を図った。 	A	B	<ul style="list-style-type: none"> 加計呂麻島住民を対象とした離島住民割引を継続して実施し、島民の利便性確保、負担軽減に努める。 離島住民にとって必要不可欠な交通手段である航路の維持・確保のため、今後とも経費削減に努めるとともに、安定的な航路運営に努める。 	離島航路を維持していること自体評価できる。 H30.4月から新船による運航を再開し、安定的な運航に努めると共に、加計呂麻島の住民を対象とした離島住民割引により利用拡大を図れていることは評価できる。 今後も、必要不可欠な生活航路として維持するため、島民の利便増進の取り組みについて、期待します。	
天草～長島航路対 策協議会	天長フェリー株式会 社	天草～長島	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年3月に策定した「航路改善計画」を踏まえ、長島町や天草市など関係自治体との連携を図り、特に長島町など行政が実施する各種イベントと連携し、島外からの交流人口の利用促進を図ることで、目標の輸送量確保及び航路利用の促進に努めた。 長島町が獅子島住民の利用促進の一環として実施している自動車運賃を一部助成する制度(平成22年7月～)を活用し、自動車輸送量の確保に努めた。 平成30年10月より獅子島住民を対象とした離島住民運賃割引を実施し、島民の利便性確保、負担軽減を図った。 	A	B	<ul style="list-style-type: none"> 獅子島の人口が減少傾向にあり、島民の利用は漸次減少しているところであるため、長島町や天草市など関係自治体との連携を図り、地域間交流事業など島外からの交流人口の利用促進を図り、輸送量の維持に努める。 平成30年3月に策定した「航路改善計画」に基づき、引き続き、運航サービスの向上や利用者ニーズに対応した航路運営に努める。 平成30年3月に策定した「航路改善計画」に基づく運航形態の見直しや代替船(省エネ効率化船)の導入による経費削減に向け、より具体的な検討を行う。 離島住民にとって必要不可欠な交通手段である航路の維持・確保のため、今後とも経費削減に努め、安定的な航路運営に努める。 	離島航路を維持していること自体評価できる。 地方自治体と連携した本航路の利用促進策により年々自動車輸送量増となり運航収益が増加していることは評価できる。 今後、平成30年3月に策定した航路改善計画に沿った取り組みに期待します。 また、離島住民割引を開始して1年が経過したことから次年度は同割引の利用状況について検討のうえ、目標に反映されることを期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和2年3月30日

九州運輸局

評価対象事業名：確保維持改善事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
山口県生活交通確保維持改善協議会	下関市	竹崎～六連島航路	船舶の小型化(49トン→19トン)により燃料費、検査費用、修繕費等の削減に努める。 平成31年4月に新船が就航することから、関係部局とともに情報発信を実施する。	A	A	島民及び利用者の意見を反映させながら利用者拡大及び利用しやすい航路サービスへの改善に取り組んでいく。 船舶の小型化により引き続き燃料費、検査費用、修繕費等の削減に努め、安全運航を最優先にして安定的な航路運営を行う。	離島航路を維持していること自体評価できる。 H31.4月の新船の就航により修繕費、燃料費等の削減となっております。島のリーフレット作成、島のPR動画作成は興味深い取り組みであり、観光客の利用促進に期待します。	
山口県生活交通確保維持改善協議会	下関市	蓋井島～吉見航路	テレビ等のマスコミの取材に積極的に協力し、観光客の誘致等に努めている。 7年に一度の山ノ神神事もあり、自治会や島民が中心となり島おこしを行っており、市としても積極的に情報発信も行っている。	A	A	島の情報発信の取り組みとして現時点では、山口新聞に蓋井島の釣り情報を掲載している。 安全に配慮しながら安定的な航路運営を行う。 離島住民にとって必要不可欠な交通手段である航路の維持確保のため、今後とも燃料費、修繕費等の経費削減に努めるとともに、利用者増加を図る。	離島航路を維持していること自体評価できる。 H30.4月の新船の就航により修繕費、燃料費の削減となっております。島のリーフレット作成、島のPR動画作成は興味深い取り組みであり、観光客などの利用促進に期待します。	